

日本ミュージアム・マネジメント学会
第28回大会開催のご案内

◆テーマ: 社会変動に対応できる新たなミュージアムの可能性

◆日程: 2023年6月3日(土)~6月4日(日) ※6/2(金)にエクスカージョンの実施を検討中

◆会場: 乃村工芸社ビル(東京都港区台場2-3-4) ※オンライン併用

◆主催: 日本ミュージアム・マネジメント学会

◆プログラム(予定)

【第1日目】 6月3日(土) 午後から実施予定

- ・総会
- ・特別講演「(仮)ミュージアムに求められる新たな役割と具現化するためのマネジメント」(講師:交渉中)
- ・シンポジウム「ミュージアムの定義のリニューアルから見る、これからのミュージアムの役割(仮)」
(話題提供者・パネリスト:交渉中)
- ・情報交換会 等

【第2日目】 6月4日(日)

- ・会員研究発表、ポスターセッション 等

◆参加費(対面・オンラインともに)

会員:3,000円<早割2,000円>(学生1,000円) / 非会員:5,000円<早割3,000円>(学生1,000円)
※学生料金は早割適用外です

◆今後のスケジュール(予定)

2023年1月下旬	発表者募集開始
2023年2月下旬	発表者募集締切
2023年4月上旬	参加申込受付開始
2023年5月上旬	早割受付締切
2023年5月下旬	参加申込締切

<開催趣旨>

本学会では、2021年度の大会で、これから予想される社会変動と、社会変動に対応するためのミュージアムの課題などを、会員とのzoomを介した対話を通して深めていった。対話を通して、①社会変動に対応できるミュージアムの人材育成の重要性、②ポストコロナ時代の新たなミュージアムの可能性、に関する議論を深めることの重要性が共有できた。①に関しては、2022年度、高知で開催された大会において議論を深めることができた。2023年度は、②をテーマとして設定し、会員と共に対話を通して深めていきたい。

日本のみならず、世界中のミュージアムは、未曾有のコロナ禍を経験することで、改めてミュージアムの存在理由を認識し、その役割を果たすべく様々な方法を持ってその活動を維持してきた。また、2019年の国際博物館会議(ICOM)京都大会より継続協議だったミュージアムの定義も、ICOM会員が定義づくりにかかわるといった民主的な手法を持って採択された。そこには、accessible, inclusive, diversity, sustainability, participation of communitiesといった単語が用いられていることから、ミュージアムの社会的な役割が明確に記載されているといえるだろう。また日本でも、2023年4月より、改正博物館法が施行される。そこでは、ミュージアムの目的に「文化芸術基本法」の精神に基づくことが追加され、登録博物館の基準の緩和、博物館資料に係るデジタル・アーカイブ化や人材の育成、地域の活力の向上のために教育、学術・文化の振興、文化観光等の活動の推進をミュージアムに求めることが明記された。

このように、国内外からミュージアムには新たな役割が期待されている。日本でも、すでに実践しているミュージアムがある一方、具体的にどのように新たな役割を担っていくべきか、そのためにどのような活動を行うべきか、様々な条件の下で模索しているミュージアムも多いと思われる。

今回の大会では、ICOMの新しいミュージアムの定義で明確化された内容は、日本のミュージアムにおいてどのような意味を持つのか、今後のミュージアムの理想とする姿を会員とともに深めていきたい。

※感染症の状況や都合により、プログラム・開催方法等を変更することがありますのでご了承下さい

日本ミュージアム・マネジメント学会大会実行委員会
東京都港区台場2-3-4(株)乃村工芸社内
TEL/FAX:03-3570-2498 e-mail:kanri@jmma-net.org

JMMA
JAPAN MUSEUM MANAGEMENT ACADEMY